

# 研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

日本人におけるアンジオポエチン様蛋白濃度に関する探索的研究

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2008年4月～2018年12月に昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院糖尿病代謝内分泌内科に入院または外来通院され、以下の研究にご協力していただいた患者さん

- ・日本人2型糖尿病患者におけるテストミール及びブドウ糖負荷試験によるGLP1濃度の検討
- ・日本人2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬とDPP4阻害薬との比較研究
- ・LDLおよびHDL亜分画の脂質組成と臨床パラメータとの関連調査
- ・2型糖尿病におけるDPP4阻害薬による脂質改善作用についての研究
- ・2型糖尿病患者における24時間中心血圧測定についての研究
- ・2型糖尿病患者におけるアンジオポエチン様蛋白に関する探索的研究

## 2. 研究目的・方法

アンジオポエチン様蛋白(ANGPTL)は多様な作用があり、脂質異常や心血管疾患の発症とも密接に関連することが報告されていますが、これまでにANGPTLが低比重リポ蛋白(LDL)や高比重リポ蛋白(HDL)の質的異常との関連については報告されていません。そこで既にANGPTL濃度を測定した2型糖尿病患者さんを対象に血中ANGPTL濃度とLDL・HDL脂質検査項目や合併症、胸腹骨盤単純CTでの画像検査による各種体積、面積との関連を後方視的に検討することを目的としています。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧(収縮期/拡張期)、脈拍、糖尿病罹病期間、合併症の有無、内臓脂肪面積、各臓器体積、脂肪体積、診断病名、既往歴、現病歴、嗜好歴(喫煙歴・飲酒歴)、家族歴、併用薬、血液・尿検査項目(血算、生化学、糖尿病関連項目、脂質関連検査項目、ANGPTL濃度、AGE関連項目)

## 5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を

識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院、昭和大学附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学病院および昭和大学附属東病院 糖尿病代謝内分泌内科（提供元）から昭和大学医学部糖尿病代謝内分泌内科学講座（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

## 6．研究組織

研究責任者 昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 長池弘江

## 7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 氏名：長池弘江

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8947